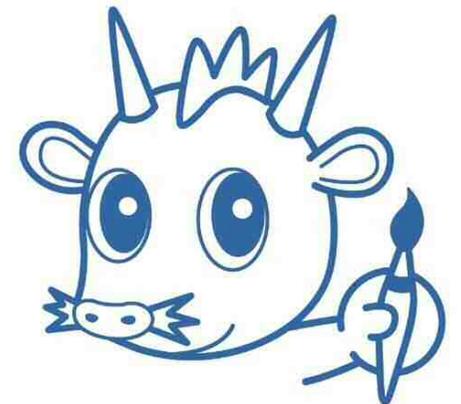


令和2年5月29日
教育戦略会議報告

さいたま市生涯学習推進ビジョン について

～新しい時代に 新しいビジョンを～



国及び本市の動向

生涯学習推進ビジョン策定に向けた国の動向

平成30年6月 人生100年時代構想会議（座長：内閣総理大臣）

我が国は、健康寿命が世界一の長寿社会を迎えており、今後の更なる健康寿命の延伸も期待される。

こうした人生100年時代には、高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、全ての人々が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくる必要があり、その重要な鍵を握るのが「人づくり革命」、人材への投資である。

平成30年6月 第3期教育振興基本計画（閣議決定）

2030年以降の社会像の展望を踏まえた個人と社会の目指すべき姿と教育の役割として、

- ・個人→「自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材を育成していくこと」が重要である。
- ・社会→「一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現」と「長期的な見通しを持って、社会（地域・国・世界）の持続的な成長・発展」を目指していくことが重要である。

平成30年12月 中央教育審議会答申（座長：第9期中央教育審議会会長）

「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」

- ・今後の我が国にとって「『社会教育』を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくり」が一層重要である。
- ・地域における新時代の社会教育の方向性として「開かれ、つながる社会教育」を提示した。
- ・社会教育活動の出発点となるのは、「個々人の学びの意欲」と「学びの場への主体的な参画」である。
- ・首長部局、学校、NPO、企業等の多様な主体が、これまで以上に連携・協働することが必要である。
- ・世代を超えた学びを通じて、心を開き、つながりを深め、地域の課題に向き合いつつ地域独自の強みや特色を生かした、多彩で創造的な取組を進めることが、個人の豊かな生活の実現と、元気で明るい多様な地域社会の共創につながる。

生涯学習推進ビジョン策定に向けた本市の動向

平成31年4月～ 第2期さいたま市教育振興基本計画

さいたま市の教育が目指す人間像 「世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人」
 基本理念 「人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」の推進
 基本的方向性3 「人生100年時代を輝き続ける力の育成」
 基本的方向性4 「スクール・コミュニティによる連携・協働の充実」

令和元年9月 さいたま市社会教育委員会議答申

～新たな時代の生涯学習環境の整備に向けて～
 方向性1 いつでも、どこでも、何度でも学べる環境づくり
 方向性2 学習意欲を引き出す学びのきっかけづくり
 方向性3 「学び」と「活動」が循環する環境づくり

令和2年1月 「未来を拓くさいたま教育」推進プロジェクト

方向性4 人生100年時代を見据えた教育環境整備
 ・人生100年時代を輝き続ける力を育成する生涯学習の推進 (ソフト面) → **生涯学習推進ビジョン策定へ**
 ・市の魅力アップにつながる生涯学習関連施設の整備 (ハード面)

令和2年1月 次期総合振興計画(案)の検討

第4章教育 第1節 人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」の推進
 施策3 「人生100年時代を輝き続ける力の育成」

成果指標	「学習機会を得ている」と感じる市民の割合	令和元年度実績 50.5%	令和12年度目標 55.0%
	「学習の成果を地域活動やボランティアなどで社会に還元している」と答えた市民の割合	令和元年度実績 27.2%	令和12年度目標 30.0%

施策4 「スクール・コミュニティによる連携・協働の充実」

成果指標	「地域の学校は、地域から信頼されている」と思う市民の割合	令和元年度実績 72.1%	令和12年度目標 80.0%
	「地域の人たちは、自分たちを見守り、支えてくれている」と思う児童生徒の割合	令和元年度実績 93.5%(小6)・83.8%(中3)	令和元年度目標 94%以上(小6)・84%以上(中3)

策定体制・検討状況

教育戦略会議

<ビジョン案報告・審議・承認>

第10期社会教育委員会議

(任期：令和元年10月1日～令和3年9月30日)

<意見聴取>

報告・付議

指示・承認

素案提示

意見

事務局

生涯学習推進検討会議

<ビジョン案に関する協議、検討>

- ・生涯学習部長（議長）
- ・生涯学習振興課長（副議長）
- ・関係課長（市長部局含む）

生涯学習推進部会

<ビジョン案の骨子作成>

- ・有識者（非常勤特別職）
- ・生涯学習部担当者

連携

検討状況

令和元年度 生涯学習推進部会開催（12月、1月）

令和2年2月～ 生涯学習部職員243名によるヒアリング実施。3月～ 回答を集約

令和2年4月～ ヒアリングシート「言葉のシャワー」を作成

・生涯学習に携わる本市職員から、自由記述形式のアンケート形式で得た言葉集。

☞ 新しい時代の生涯教育とは何かを探るヒントとして活用する。

令和2年5月～ ヒアリングシート「言葉のスクラム」を作成

・言葉のシャワー編から見えてきたものをグループ化し、ビジョン策定に向けて方向感を出したもの。

☞ 新しい時代の生涯教育の姿を模索するアイデア集として活用する。

本日現在

令和2年5月29日 教育戦略会議に骨子（たたき台）を報告

令和2年6月

- ・生涯学習推進部会で骨子案を検討
- ・社会教育委員会議で骨子案を意見聴取

令和2年7月

- ・生涯学習推進検討会議で骨子案を検討

骨子（たたき台）

さいたま市生涯学習推進ビジョン（たたき台）

概要

豊かで安心して暮らせる社会の実現に向け、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の観点により、本市の生涯学習の理念を市民に分かりやすく示す指針として、新しい時代を豊かに学ぶための生涯学習を推進するビジョンを策定するもの。

ビジョンの基本理念 （案）

わくわく 元気で 夢を持ち 新しい時代を学び抜く

ビジョンの基本方針 （案）

- I いつでも、どこでも、何度でも学べる環境づくり（人づくり）
～ 市民一人ひとりの**成長ストーリー**を支える生涯学習の推進～
- II 学習意欲を引き出す学びのきっかけづくり（つながりづくり）
～ 多種多様な生涯学習関連施設による**学びのサポート**～
- III 「学び」と「活動」が循環する環境づくり（地域づくり）
～ **SDGsの実現**を目指した持続可能な共生社会の構築へ～

策定に向けた ポイント

- ・ **新型コロナウイルス**に立ち向かう中で、想定外やジレンマを乗り越えることが必要となっている今、生涯学んでいくことが**人間の生きる力**を高め、**夢**をはぐくみ、幸せに**人生100年時代**を**生き抜く**ことにつながることを宣言するビジョンとしたい。
- ・ Society5.0の実現に向けたA I等の技術革新やグローバル化の急速に進む中、持続可能な開発目標であるSDGsと関連付けて、**世界と向き合う**ビジョンとしたい。

ポストコロナ時代における生涯学習の重要性を訴える